



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 178
16 February
2008

トピックス

関係機関との防災協力推進

インドにおける地方行政官を対象としたワークショップの開催

お知らせ

↑ 国際復興フォーラム『よりよい復興に向けた防災人材育成』が開催

↑ 都市防災に関する地域会合が神戸で開催

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.or.jp
http://www.adrc.or.jp

© ADRC 2008

● 関係機関との防災協力推進 インドにおける地方行政官を対象としたワークショップの開催

アジア防災センター（ADRC）では、国連アジア太平洋経済社会委員会（UN/ESCAP）による津波リージョナルトラスト基金を活用して、2007年12月20～21日の2日間、インドのチェンナイにおいて、国家防災管理局（NDMA）と共催のもと、防災を担当する地方行政官を対象としたワークショップ「コミュニティベースのハザードマップ開発におけるトレーナー育成プログラム」を開催し、中央政府、地方行政官さらには大学、研究機関、NGOから60名を超える防災担当官等が参加しました。本ワークショップの目的は、コミュニティの防災力を高めるための手法であるタウンウォッチングを用い、コミュニティベースのハザードマップ作成手法を地方行政官が学ぶことを通じて、トレーナーとして養成することです。

ワークショップ初日には、NDMAのメンバーであるチャンドラ・ヴィノド・メノン教授、タミル・ナドゥ州シル・スルジート・シン・バルナーラー知事、アンナ大学ヴィスワナサン学長及び鈴木弘二ADRC所長による開会挨拶に引き続き、インド東海岸における自然災害リスクに関連してアナ大学ラマチャンドラン・ラメシュ教授より、災害後の復興問題に関して国際復興支援プラットフォーム（IRP）事務局アニル・シンハ事業統括官よりそれぞれ講演が行われました。日本からは、富士常葉大学の小川雄二郎学部長より、日本の自然災害の教訓を伝えるために、阪神・淡路大震災の事例や津波リスクに関する講演に加え、タウンウォッチングやハザードマップの作成手法についての説明が行われました。

ワークショップ2日目には、インド洋津波で被災したチェンナイ郊外のフォーショア・エステイト地区を対象にタウンウォッチングを行いました。同地区は、東側がインド洋に面した砂州に位置しており、漁民を中心としたコミュニティが形成されています。研修生は複数のグループに分かれ、インド洋津波襲来時の状況などについて住民へのインタビューを積極的に行う等、当該地での問題点を洗い出しました。

津波発生時の避難場所は、3階建ての老朽化したアパートがあるだけであり、津波後、政府が居住地移転を推奨していますが、漁業中心のコミュニティであることから海岸から離れた生活は考えにくく、移転が十分に進んでいない状況にあることが明らかになりました。タウンウォッチングで洗い出



(続き)

した問題点を地図上に整理し、次に各問題点について誰がどう対処すべきかについてグループ内で討議を行い、最後にグループ毎にプレゼンテーションを行ないました。各グループ共、避難場所がないこと、移転問題、さらには自然災害を離れて衛生問題にも触れるなど、当該地の抱える問題点を明確化し共有化を図ることができました。

研修生は2日間のワークショップを通じて、インド東海岸の抱える自然災害リスクに対する理解を深めると共に、タウンウォッチングを用いたハザードマップの作成の有効性を理解し、さらにはマップ作成を通じた参加者のリスクコミュニケーション（リスクに関する個々人のギャップを埋める手法）についても学ぶことができました。

本手法の普及のために各研修生に対しては、各職場での本手法の実践を推奨しており、研修生のみならず防災行政担当者等が本手法を実践するための手引きとなるように、ワークショップで撮影したビデオを現地語に編集して配布する予定です。

● お知らせ**国際復興フォーラム『よりよい復興に向けた防災人材育成』が開催**

2008年1月24日、兵庫県神戸市のJICA兵庫において『国際復興フォーラム-よりよい復興に向けた防災人材育成』（主催：IRP事務局、JICA兵庫国際防災研修センター、ADRC、UN/ISDR兵庫事務所、内閣府、兵庫県）が、28カ国約130名の参加のもと開催されました。会議では、災害後によりよい復興を遂げられるような人材育成をいかに促進していくか等について、熱心な議論が交わされました。なお、発表資料などの会議の詳細はIRPのホームページ

(<http://www.recoveryplatform.org/jp/recoveryforum.html>) をご覧ください。
ご参加いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

都市防災に関する地域会合が神戸で開催

2008年1月23～24日、兵庫県神戸市において都市防災に関する地域会合が開催されました。本会合は、UN/ISDR兵庫事務所のリーダーシップの下、国内外の知見を集約し、アジアの都市防災に貢献することを目的としたものです。ADRCを含む14の政府機関、国連、国際機関、大学、NGOからの28名の防災担当者が集い、都市災害リスク軽減に向けた具体的な情報共有、協力のあり方や活動方針について議論しました。会議の詳細につきましては当センターホームページ (<http://www.adrc.or.jp/events/RTFmeeting20080130/top.html>) をご覧ください。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.or.jp までEメールをお寄せください。